

愛媛県

はな

花おどり

県指定無形民俗文化財

曾根花踊り保存会

[出演者]

清家 芳 (唄)	宇都宮 隆 (唄)	青木 将吾 (踊り)	宇都宮 勲 (太鼓拍子)
宇都宮多喜夫 (唄)	富永 誠 (踊り)	青木 吉久 (踊り)	若山 学 (太鼓拍子)
実藤 友弘 (唄)	宇都宮亮介 (踊り)	清家 行範 (踊り)	
宇都宮一三 (唄)	兵頭 勝正 (踊り)	実藤 皇介 (踊り、太鼓)	
宇都宮友文 (唄)	兵頭 光洋 (踊り)	青木 功多 (太鼓)	

[行う時期・場所]

9月1日
天満神社
(愛媛県宇和島市三間町曾根)

「花おどり」は愛媛県宇和島市三間町曾根地区にある天満神社で毎年奉納されており、天正13年(1585)頃より、踊り継がれていると伝えられています。

その由来は、昔土佐の長宗我部元親が宇和郡を侵略した際に、土佐の太刀踊りを舞って齒長城主をおびき出し、城主は鼻を切られて討ち取られたとの言い伝えがあり、それ以来、在所の人々は五穀の豊穡を祈り、非業に倒れた齒長城主の霊を慰めるため毎年旧暦の8月朔日(現在の9月1日)に踊るようになるとされています。始まった当初は鼻取踊と呼ばれていましたが、花取踊、花踊と名称が変化し、現在では天神花踊と呼んでいます。

踊りは太刀を長柄にし、これに「しで(白紙で作った飾り)」を付け、剛と柔を織りなす美しさを見所とします。太刀踊りが8通り、鎌踊りが6通りあり、さきだち、さしあい、くるま、もんじり、きりあげ、わきばさみ、みとうしき(太刀踊り)、さしあい、くるま、もんじり、わりかま、とりおい、二番さしあい(鎌踊り)、最後にひきは(太刀踊り)の順に踊ります。今回はその中からさきだち、わりかまを披露いたします。

